

タキシダ

Antrophyum obovatum Bak.

シシラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

絶滅危惧 I B 類

選定理由

生育地が稀で個体数が少ない。(現況:RO)

形態

根茎から葉がまとまってでる。葉は長楕円形の単葉で、網状脈。中肋は発達しない。基部は次第に細くなり、孢子囊群は細長い線形で裏面の溝の中につく。

国内分布

本州、四国、九州(屋久島以北)。

県内分布

南加賀区。

生態など

常緑性の着生植物である。好陰湿潤地性で、繁殖は孢子により、風で散布する。

生育環境

二次林谷筋の岩壁に生育する。

危険要因

森林伐採、園芸採取、動物食害、自然遷移、産地局限、その他(マニアによる採取)。



小野ふみゑ・2005年1月16日・加賀

分布図はありません。

県内の分布